

農業には、開発も、ITも、ビジネスもある

世界の農業の今と お客様の声に応えて 新しい豊かさを生み出す

岡山県 ヤンマーアグリ(株)

ヤンマーアグリ株式会社は、農業機械を通じて人々の「食」を支える企業です。1933年に世界で初めて小形ディーゼルエンジンの実用化に成功して以来、トラクターや田植機、コンバインなどの農業機械・サービスを開発・提供し、日本国内はもちろん、アジアや欧米をはじめとする世界各地の農業現場を支えてきました。

私たちはヤンマーグループの農機事業を担い、「A SUSTAINABLE FUTURE—テクノロジーで、新しい豊かさへ。」を存在意義として掲げています。人の豊かさや自然の豊かさを両立させる社会を大切な価値観とし、農作業の効率化にとどまらず、農業を生産・加工・流通まで含めた「食農産業」として進化させることをビジョンとし、食料需要の拡大や担い手不足といった課題に向き合いながら、生産性と環境への配慮、経済性をバランスよく備えた農業のかたちを追求しています。

私たちの強みは、研究・開発から生産、販売、アフターサポートまでを一貫して行い、農業の現場に寄り添い続けている点です。エンジン技術を基盤に、ロボット技術やICTを活用したスマート農業にも取り組み、自動運転トラクターや作業を支援するサービスを通じて、農業の可能性を広げてきました。また、園芸・施設分野や、ヘリコプター・ドローンによる防除など、各分野に精通したプロフェッショナルな人材が連携し、地域に応じた農業を支えています。

その根底には、人の可能性を信じ、挑戦を後押しする価値観「HANASAKA」があります。農業は日々の食卓を支える大切な産業であり、私たちの暮らしと深く結びついています。農業に関わる人々を支えることを通じて社会に貢献し、食を未来へとつなげていくこと。それがヤンマーアグリ社の使命です。



代表取締役社長
所司ケマル

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並 428
問合せ先: 0570-020-230



会社情報
はWebへ

「食と農と大地」の ソリューションカンパニーとして、 豊かで持続可能な社会の 実現に貢献してまいります。

東京都 井関農機(株)

井関農機株式会社は、創業者・井関邦三郎の「農家を過酷な労働から解放したい」という熱い想いから、1926年に創立以来、農業の機械化・省力化を通じて生産性の向上に貢献してきました。

井関グループは、製品提供にとどまらず、お客さまに寄り添い、ともに課題解決に取り組む存在でありたいと考えています。また、農業分野で培った技術や知見を活かし、景観整備などの人々の暮らしを支える分野へも事業を拡げ、住みよい村や街づくりの一翼を担っています。

そして、その企業価値を創出する基盤は「人」であると考えています。従業員一人ひとりが挑戦し、成長し続けられる職場環境と仕組みを整備することで、知識・能力・経験を最大限に引き出し、中長期的な企業価値の向上を目指す資本経営を推進しています。安心・安全な職場環境の整備、キャリア支援、多様な人材の育成・活用を重点施策とするとともに、定期的なエンゲージメントサーベイおよびパルスサーベイを通じて、従業員の意識や職場の状況を継続的に把握することで、従業員の成長とともに企業としても成長し続けることを目指しています。

また、世に先駆けて多くの機械を開発し、フロントランナーとして農業の機械化に大きく貢献してきた「フロンティアスピリッツ」を大切にしながら、社員一人ひとりが誇りを持って働ける会社を作り上げていきたいと考えています。

井関グループはこれからも、「Your essential partner」として、“なくてはならない存在”であり続けることともに、「食と農と大地」のソリューションカンパニーとして、豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



代表取締役社長執行役員
小田切 元

〒116-8541 東京都荒川区西日暮里 5-3-14
問合せ先: 03-5604-7727



会社情報
はWebへ

地球の、 未来を拓く人。

大阪府 (株)クボタ

クボタは1890年(明治23年)の創業以来、「食料・水・環境」の分野で社会課題の解決に取り組んできました。水道用鉄骨の国産化による近代水道の整備や、農業機械の開発による食料生産の効率化などを通じて、人々の暮らしを支えています。

現在は主力の農業機械に加え、水インフラ、建設機械、産業用エンジン、環境関連機器など幅広い事業を展開し、世界150カ国以上でソリューションを提供しています。食料分野においては、畑作や稲作等、幅広く手掛ける農業機械メーカーとして、現場主義を徹底し、お客様の声に寄り添いながら、日本だけでなく世界の農業の発展を支えています。

日本では農業従事者の減少や担い手農家への農地集約が進む中、限られた人手で農業を維持するため、省力化・効率化の重要性が高まっています。こうした課題に対し、クボタはロボットやICTを活用したスマート農業を推進しています。

有人監視下での無人運転が可能な「アグリロボシリーズ」(トラクタ・田植機・コンバイン)や、営農支援システム「KSAS」にて、圃場や作業のデータを可視化。農業機械はもちろん、様々なアプリやサービスと連携することで、農作物の品質・収穫量の向上にもお役に立てています。

クボタは今後も、農作物の生産から販路拡大に至るまで、トータルソリューションを通じて、持続可能な農業の実現に挑み続けます。



人財開発部 採用課
小川里香

※「食料・水・環境の分野で世界に貢献する」という当社のミッションを果たすため、クボタでは次のような人財像を掲げています。

- 1 「自らの成長を求めてチャレンジし続ける人財」
- 2 「誠実さと粘り強さを兼ね備えた人財」
- 3 「多様性を受け入れ、チームワークを尊重する人財」

〒530-0011 大阪府北区大深町5-54 グラングリーン大阪南館パークタワー
問合せ先: 06-6648-2111



会社情報
はWebへ

次世代のために 食の未来を守り 新技術で農業の 未来をつくりだす

兵庫県 ヤンマーグリーンシステム(株)

ヤンマーグリーンシステムは、収穫後の農作物を安全に届けるために乾燥・貯蔵・選別・包装を行う農業施設を展開しています。

主にお米や麦などの穀物を乾燥させ出荷までをサポートする施設や、野菜・果物の選別・鮮度保持施設の設計・施工からアフターサービスまでを一貫して担います。

エンジニアリング力を軸に機械やITなどの技術を融合し、お客様のニーズに応じた最適な提案を行い、日本の食の安全・安心を支える「食のインフラ」を提供しています。

近年は、ICTやAI、自動化技術などを活用したスマート農業の実現に取り組んでいます。



代表取締役社長
中井健二

〒664-0851 兵庫県伊丹市中央 3-1-17 SRビル
問合せ先: 072-789-9219



会社情報
はWebへ

食の未来を創る仕事 生かせる君達のしなやかさ



ロボット技術やデータを駆使したスマート農業も

「生きることは、食べる」と。農業は生命の根幹を支える重要な産業だ。しかし、高齢化・異常気象の常態化、資材費の高騰、など乗り越えるべき課題が幾つもある。ロボット技術やデータを駆使したスマート農業の普及など、明日の農業のために貢献している。そこでは、君たちのしなやかさが、大きな力を発揮する。君たちの思いが、農業の未来へとつながっていく。この特集の中で紹介されている企業は、各地で農業

「生きることは、食べる」と。農業は生命の根幹を支える重要な産業だ。しかし、高齢化・異常気象の常態化、資材費の高騰、など乗り越えるべき課題が幾つもある。ロボット技術やデータを駆使したスマート農業の普及など、明日の農業のために貢献している。そこでは、君たちのしなやかさが、大きな力を発揮する。君たちの思いが、農業の未来へとつながっていく。この特集の中で紹介されている企業は、各地で農業

地域の未来を 農業から 支えている 会社です！

石川県 (株)北陸近畿クボタ

私たちは北陸3県、滋賀、京都のエリアで、日々地域の農家さんを支え、農家さんに支えられながら働いております。

われわれの仕事は、ただ農業機械をお客様に売る、というだけではありません。お客様の悩みを自分事として捉え、お客様とともに課題に向き合っていく。そういった姿勢を何より大切にしています。そして、それが実り農家さんから「ありがとう」という言葉を頂けたとき、大きなやりがいを感じることが出来ます！

当社には地元で貢献したい！地域が必要とされる存在になりたい！...そんな熱い思いを持った社員が数多く在籍しております。



採用担当
加茂遼平

〒924-0038 石川県白山市下柏野町 956-1
問合せ先: 076-275-9555



会社情報
はWebへ

高品質な乾燥が 安心と平和をつくる

埼玉県 金子農機(株)

金子農機は大正元年の創業以来、1世紀以上に渡り、農業機械の発展と共に歩んで参りました。現在まで登録した知的財産権は1000件を超え、穀物乾燥機を軸に乾燥調製周辺機器を開発、製造を続け、今日に至ります。「一心写」「カネコ」の愛称は、稲作農家様の間では世代を超えて親しまれ、多くのご愛顧を頂戴しています。

スマート農業の時代に入り作業効率が高飛躍的に向上している中で、食糧の備蓄、安全な品質、食育の推進が求められています。金子農機では、これまで培った技術力を土台に、安心と平和をつくる新時代の農機をさらに模索し、チャレンジを続けます。



代表取締役社長
金子常雄

〒348-8503 埼玉県羽生市小松台 1-516-10
問合せ先: 048-561-2111



会社情報
はWebへ

毎日の食卓に、 精米したての 美味しさと健康 をお届けする

富山県 マルマス機械(株)

マルマス機械は1950年6月、富山県上市町に創業しました。以来、主に精米機を中心にお米に関する機械を開発・製造し続けてまいりました。農家の皆様が苦勞して作ったお米を大切に仕上げられる機械、それが精米機です。私共は、その精米機を作ることに誇りを持っています。培ってきた技術をさらに磨き、より喜ばれる機械を世に送り出していきたいと思っています。

また、当社では「モノより心を大切に」しています。個々の数字や成果より、いかに仲間と助け合い、補い合い、励ましあう、そして時には許しあう、そのような人間関係を構築し、より充実した、そして平安な社内環境の実現を目指しています。お客様の真に役に立つ製品を発明することができ、それが当社の信念です。



代表取締役社長
平野泰孝

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉 2
問合せ先: 076-472-2233



会社情報
はWebへ

独創的な技術で 持続可能な 農業の未来を 切り拓く。

新潟県 (株)ホクエツ

半世紀以上の社歴を誇り、大手農機メーカーがカバーしきれない一連の作業を劇的に楽にする「省力化・軽劣化」のための小型農業機械・資材を中心に開発しています。本社を基盤に北海道、東北、関東、東海エリアの8拠点を繋いで生産者の「困りごと」を解決。自社一貫体制だからこそ、自分のアイデアが製品になることを実感できる会社です。

10年以上ベースアップを達成中。残業の少なさ、有給や振休の取得徹底といった充実した待遇面が評価され、新潟県の「N i e f u l (ニールフル)」認定企業でもある充実の環境で、若手社員が能力をフルに発揮しています。



代表取締役社長
浅野智行

〒959-1277 新潟県燕市物流センター 2-29
問合せ先: 0256-63-9155



会社情報
はWebへ

価値ある製品と サービスを届け 産業と地域の 未来を支える

茨城県 (株)タイショー

タイショーは1914年の創業以来、農業機械メーカーとして日本の食を支えてきました。自社ブランドの肥料散布機や発芽器、穀物搬送機などの開発から製造・販売までを一貫して手がけ、農作業の負担軽減と生産性の向上に貢献しています。

私たちの強みは、ユーザーの声に耳を傾け、新製品の企画や改良に活かす実直さです。さらに、衛星データを高度に活用した製品開発にも注力しています。近年は、長年培った技術を生かし、鳥インフルエンザ対策用の石灰散布機や、冬場の道路を守る凍結防止剤散布機を開発するなど、農業の枠を超え、社会課題の解決にも取り組んでいます。



代表取締役
小園井正美

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 1027
問合せ先: 029-247-5411



会社情報
はWebへ

スキマを満たし 人のチカラに

新潟県 オギハラ工業(株)

農業県であり豪雪地でもある新潟県で創業したオギハラ工業は、除雪用具や農業機械を通じて地域課題の解決に取り組んできました。農家の方が不便だと分かっているが我慢して行っている作業、大手企業がニーズを把握していないが小さく自社工場では「スキマ」と定義し、それを満たすことがオギハラ工業の使命だと認識しております。自社製品だけではなく多くの企業様へのOEM供給や自社設計部門を活かしたODMや共同開発などを通じ、業界においてなくてはならない存在となれるよう活動を続けております。



代表取締役
荻原拓実

〒943-0122 新潟県上越市新保古新田 639
問合せ先: 025-525-3510



会社情報
はWebへ

挑戦する仲間と 共に日本農業を 支える 第一人者へ

岡山県 三陽機器(株)

油圧技術を基盤に、創造開発型企業として農業の機械化の一翼を担ってきました。日本初の農用フロントローダを開発し、現在まで国内トップシェアを誇っています。創業以来60年以上、日本農業の効率化と農家の皆さまの笑顔に貢献し続けています。

現在も「受け持つ仕事の第一人者になる」という創業時の想いを受け継いでおります。この想いに共感でき、失敗を恐れず「やってみる」という気持ちで行動できる仲間を大切にしています。私たちはお客様に寄り添い、柔軟な発想で新たな価値を生み出し、農業・産業機械の未来を創っていきます。



代表取締役社長
守安利文

〒719-0392 岡山県浅口市里庄町新庄 3858
問合せ先: 0865-64-2871



会社情報
はWebへ

日本農業に 革命を起こす オンリーワンな モノづくり

北海道 オサダ農機(株)

自動車整備工場をルーツに持つ弊社は①現場の声をごより早くカタチにする②農家さん一人ひとりの困りごとに着目「現場即応主義」で、革新的な野菜収穫機を開発してきました。1台で15人分の作業をこなす「にんじん収穫機」や、「大根収穫機」「スイートコーン収穫機」など人手不足に悩む農作業における「収穫革命」に挑み続け、キャベツ収穫機では農林水産大臣賞をいただきました。

若手が最前線で日本の食を支える主役として活躍できる環境を整備し、これからは富良野の広大な畑のテスト圃場で、過酷な手作業を機械化させ、誇りを持ってスマートな産業へのアップデートに挑んでまいります。



代表取締役社長
鎌田和晃

〒076-0006 北海道富良野市字福山 877-3
問合せ先: 0187-39-2500



会社情報
はWebへ

北海道 (株)北海道クボタ

共創と進化で、北海道農業を支える人を支え続ける

私たち北海道クボタは、農業機械の販売や整備、酪農施設及び関連機器を通じて、北海道の農業を支え続けてきました。

広大な大地に広がる各地域に根差し、生産者一人ひとりと向き合いながら、課題に寄り添うことを何より大切にしています。

農業の現場には地域ごとに異なる悩みや条件があり、その一つひとつに向き合い、最適な形で力になることが私たちの役割です。

近年の農業は、担い手不足や高齢化、気候変動、作業の高度化など、大きな変化の中にあります。

こうした状況に対し、私たちは単なる機械の提供にとどまらず、生産者と課題を共有し、ともに解決へと歩む存在であり続けたいと考えています。

現場で本当に求められているものは何かを考え、地域の農業に合った支援を積み重ねることが、北海道の農業の未来につながると思っています。

その一つが、ロボット農機やICTを活用したスマート農業の推進です。データを活用した営農支援システムをはじめ、新しい技術は農業の可能性を大きく広げています。


しかし、技術は導入するだけでは価値になりません。現場で使いこなされ、日々の営農に役立ってこそ、本当の力になります。

私たちはその実現に向けて、地域に寄り添いながら伴走し続けています。また、道内各地に広がる拠点ネットワークと整備体制によって、農業を止めないための基盤も支えています。

変化の時代において価値を生み出すのは、最終的には「人の力」です。

現場に寄り添い、相手の声に耳を傾け、技術を理解し、地域の実情に応じて最適な提案を行う。

その積み重ねが、農業の未来を形づくっていきます。チームで支え合いながら、一人ひとりが経験を重ね、成長し続けられる風土も、私たちの大切な強みです。



代表取締役社長 道信和彦

〒063-0061 北海道札幌市西区西町北16-1-1
問合せ先: 011-661-2491

広島県 (株)サタケ

食を支える技術は、未来を動かす力に。130年の挑戦と革新で、世界の食文化に貢献する。

私たちサタケは、「食」を支える企業です。中でも人類の主食である米・麦・トウモロコシといった穀物に特化し、その収穫後の加工工程を技術で支えてきました。創業以来磨き続けてきた精米・選別・加工の技術は世界150カ国以上へと広がり、本年、私たちは創業130周年という大きな節目を迎えました。130年にわたる連続と受け継がれてきたのは、お客様のために技術を磨き続けるという変わらぬ姿勢であり、その積み重ねが今日のグローバル展開へとつながっています。

農業機械の分野において、サタケは収穫後の「品質を高め、価値に変える」工程を担っています。穀物を安全で美味しく食べられる状態へと仕上げる—その工程は決して目立つものではありませんが、食卓の安心と豊かさを支えるうえで欠かせない役割です。日々の食事で、実はサタケの機械を通ったお米や食品を口にしている方は非常に多く、「知らず知らずのうちに誰もが関わっている」と言っても過言ではありません。私たちは食の最終価値をつくる「食のエッセンシャルカンパニー」として社会に貢献しています。

その根幹にあるのが技術開発力です。日本初の動力式精米機に始まり、無洗米製造装置や光選別機など、世界初・業界初の技術を次々に生み出してきました。単なる機械をつくるのではなく、「食の品質をいかに高めるか」という本質に向き合い続け、穀物加工の全工程を一気通貫で支える体制を築いています。

また、こうした挑戦を支えているのが、人を大切にできる企業風土です。早くから働き方改革に取り組み、残業削減や週休3日制、社内保育室の整備など、多様な人材が力を発揮できる環境づくりを進めてきました。これは「会社を取り巻くすべての人々を幸せにする」という理念の具現化でもあります。

強いリーダーシップがあった創業家社長の時代と違って、生え抜きの従業員から社長になった私は、「企業は人なり」だと思っています。会社を動かしているのは、現場で働く従業員です。トップダウンではなく、従業員と対話を重ねながら、一人一人が自ら考え行動できる会社にと考えています。

これからの社会において、食の安定供給はますます重要性を増していきます。サタケは穀物加工技術を軸に、世界中の食を支える存在として進化を続けます。技術によって社会課題の解決に挑みたい、世界で価値を生み出した—そのような志にとって、大きな可能性が広がるフィールドであると考えています。



代表取締役社長 松本和久

〒739-8602 広島県東広島市西条本町2-30
問合せ先: 082-420-8501

東京都 (株)ISEKI Japan

現場の課題に向き合い、強い経営基盤づくりを推進し、日本農業の未来を切り拓きます。

株式会社ISEKI Japanは2025年1月に国内の販売会社7社と井関農機株式会社を統合し、新たな体制でスタートしました。

国内農業では、担い手不足や高齢化、農地集約による経営規模の拡大など、大きな構造変化が進んでいます。当社はこれらの課題に対応した農業機械の提供を通じ、食を支える社会基盤の維持に貢献しています。

また、農業機械の提供にとどまらず、作業効率化や営農を支援する各種ソリューションなどハード・ソフト両面から生産現場を支援しています。


さらに当社は農業用施設を設計・施工する施設事業やコイン精米事業など農業に関わる多様な事業を行っています。

当社の最大の強みは「人」です。各地域には製品と農業に誇りを持つ営業・サービス担当者を配置し、日々技術を磨いてまいります。

社員一人ひとりが専門性を高め、成長できる環境づくりを目指し、研修制度やサポート体制の充実にも力を入れています。

新たな体制のもと、お客様のニーズを追求し、課題の本質を見極め、日本の農業を支えていきます。

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-3-14
問合せ先: 03-5604-7770



代表取締役社長 石本徳秋

埼玉県 (株)関東甲信クボタ

若い力で新しい農業の未来を！


当社は、「日本の台所」「農業の大市場」である1都9県で、クボタ農業機械の販売・サービスを展開し、関東甲信地域の農業を支えたいという熱い思いで事業に取り組んでいます。

特に、KSAS(クボタスマートアグリシステム)の普及を通じて「スマート農業の提案」でデータを活用した農業の推進、「アフターメンテナンスの強化」により、農作業の大切な時間を止めないよう努め、農家の皆様の生産性向上に貢献すべく取り組んでいます。

日々、青空の下でも、雨の中でも、炎天下でも、寒風の中でも、緑豊かで美味しい空気の中や田舎の田舎で、農家の皆様と共に「地域農業を守る」べく働く。それが関東甲信クボタです。

近年は、「チーム営業」へのシフトも進め、「働き方改革」にも取り組み、さらに、充実した「研修体系」を整え、人材育成では全国トップを目指しています。

元氣な仲間とともに、新しい農業の未来を創り続けています。



代表取締役社長 冠康夫

〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西扇5-2-36
問合せ先: 048-862-3211


岩手県 和同産業(株)

「人の役に立ちたい」「想いを形にする会社です。」

和同産業は除雪機や草刈機などを、企画から設計・製造・販売まで一貫して行う製造メーカーです。除雪機では業界トップ(自社調べ)の生産台数を誇り、技術力には自信があります。当社が岩手県ということから社員自らが除雪作業の大変さを知っており、「どのような機能があれば便利か」を形にしています。

社是である「縁ある人々の幸福を実現する」ため、安心して長く働ける環境づくりに力を入れています。勤務は日勤のみで、営業職以外の転勤はありません。週休2日(日曜日、土曜日は会社カレンダー)をベースとして、2026年度の土曜出勤は年間3回のみです。さらに、入社後すぐに付与される「誕生日特別休暇」や、6ヶ月経過後の有給休暇(10日付与)など、充実した休暇制度で社員の生活をサポートしています。

最近では、つらく大変な草刈り作業を自動で行うロボット草刈機も自社開発・生産し、様々な分野で活用いただけており、今後も「人の役に立ちたい」との想いを形にすることを目指します。



代表取締役社長 三國卓郎

〒025-0035 岩手県花巻市夷相寺410
問合せ先: 0198-24-3221

長野県 松山(株)

この国の「食づくり」を終わらせない。


私たち松山株式会社【Niplo】は、農業用作業機メーカーです。1902年の創業以来100年以上にわたり、常に農業現場に寄り添い、機械の性能向上と作業効率化を追求してきました。

これからの農業現場に求められるのは、単なる「機械」ではなく、「よりスマートで柔軟なソリューション」です。豊富な実績とノウハウを活かし、生産者の声をダイレクトに反映し、誰でも安心して使える次世代インフラメントをお届けしてまいります。

私たちは、日本の「食づくり」を絶やさない。人口増加と気候変動という大きな課題の前で、食料の安定供給を支えるのは、まさに機械の進化です。Niploはこれからも、『もっと効率的に、もっとスマートに』を合言葉に、農業を支える人々の未来をともに耕し続けていきます。

また、当社は福利厚生の一環で子育て支援を充実させています。2025年は育児取得・復帰率は男女とも100%。育児短縮勤務も導入しております。

子育て中はもちろん、あらゆる事情の社員が働きやすい環境を整えています。



代表取締役社長 松山信久

〒386-0497 長野県上田市堀川15155
問合せ先: 0268-42-7500

宮城県 (株)南東北クボタ

お客様の「食」と「農業」を支えます！

南東北クボタは株式会社クボタのグループ会社として、山形県・福島県・宮城県の3県で事業を展開しています。当社が扱うのは、農業を効率的に行えるようにアシストするあらゆる農業機械です。

トラクタ、田植機、コンバインといった大型機械をはじめ、刈払機や草刈機など幅広い製品ラインアップでお客様の多様な営農ニーズにお応えします。

また、アフターサービス体制の強化にも力を入れており、修理・点検はもとより、小さな悩みや不具合、営業相談にも地域を知り尽くした営業担当とサービススタッフがじっくり対応していきます。

当社では、『スマート農業』の普及に取り組んでいます。そのひとつが、農業経営支援システム「KSAS(クボタスマートアグリシステム)」です。大規模化が進みつつある農業現場において、スピーディーな情報共有と作業効率の向上を図ります。

農業機械の販売会社として、50年に渡り地域に向き合ってきた当社は、これからも技術と知識を地域の農業とお客様のために惜しみなく発揮していきます。



代表取締役社長 富田健一

〒981-1221 宮城県名取市田高字原182-1
問合せ先: 022-384-0678

茨城県 (株)諸岡

大地に挑み、技術で応え、未来を動かす。

諸岡は1958年の創業以来、「道なき未知を切り拓く」という考えのもと、ゴムクローラ式不整地運搬車をはじめとした独自技術で建設・林業・農産物・災害復旧など幅広い分野の現場を支えてきた機械メーカーです。未整地や泥濘地など過酷な環境でも高い走破性を発揮する製品は、社会インフラの維持や災害時の迅速な対応に貢献し、国内外で評価されています。

当社の強みは、自社開発から製造までを一貫して行う体制にあります。現場の声を反映し、若手社員も設計や改良に関わりやすい環境が整っています。年間休日125日や毎週水曜日のノー残業デーなど、ワークライフバランスの向上に努めており、安心して働ける環境の中で、やりがいや社会への貢献を実感できます。

また、海外展開にも積極的に取り組み、世界各地のインフラ整備や災害復旧に携わり、グローバルな視点で社会課題の解決に取り組んでいます。挑戦を歓迎する風土と風通しの良い職場環境の中で、社員一人ひとりが主体的に行動し、「人の暮らしと地球の未来を技術で守る」というビジョンのもと成長できる企業です。



代表取締役社長 諸岡昇

〒301-0031 茨城県龍ヶ崎市長生町358
問合せ先: 0297-66-2111


福岡県 (株)オーレックホールディングス

世の中に役立つものを、誰よりも先に。

1948年の創業以来、乗用・自走式草刈機を中心とした農業機械の開発・製造・販売を手掛け、日本の農業を支えてきたオーレックグループ。農業機械メーカーとして、「世の中に役立つものを誰よりも先に創る」という想いのもと、独自性と機能性を追求した製品は国内外で高く評価され、欧州をはじめ世界各地の農業現場で活躍しています。

近年はスマート農業や有機農業、カーボンニュートラルなど社会課題の解決にも注力し、「有機農産物普及業」という新たな事業領域にも挑戦しています。研究開発職の社員自らが農家を訪れ、現場を「体感」しながら新しい製品づくりにつなげるなど、現場主義を大切にしています。

平均年齢35歳と若手が多く活躍する活気ある環境も特徴で、「勉強好き」と「前向きさ」を持つ人材が、世界の農業と未来を支えるものづくりに挑戦し、色々な価値観を持った人材がそれぞれの場所で活躍できるような働き方の実現や学びのサポートをさらに進めてまいります。



代表取締役社長 今村健二

〒834-0195 福岡県八女郡広川町日吉548-22
問合せ先: 0943-32-5002

埼玉県 (株)吉川機械販売


「所有の時代」から「レンタルの時代」へ

株式会社吉川機械販売は、95年の歴史を持つヨシカワグループの一員として首都圏を商圏とするレンタル会社です。長年、培ってきた経験・信頼を強みに、重物車の運搬、掘削、整地、基礎工事など幅広い分野に対応し、当日配達から予約配達までお客様に合わせたサービスを提供しております。

私たちの仕事は、機械を貸すだけではありません。お客様に安全・安心に機械を使っていたり、日々の点検やメンテナンスを大切にしています。こうした地道な取組が、お客様の信頼に繋がっており、現場を支える大きな力になっています。

今後DXが進んでいく中で、メンテナンスや修理は人の技術や思いが不可欠です。レンタルという仕組みを使ってお客様の「コスト」「プロセス」「リスク」をイノベーションすることにフォーカスし、社会貢献をしていくことをモットーとしております。

人を大切にしながら、会社と社員と一緒に成長していくことを目指している会社です。



総務部 遠藤 滋

〒335-0031 埼玉県戸田市美女木6-1-32
問合せ先: 048-421-2271

栃木県 (株)スズテック

農家様のニーズに応え、その先へ

弊社は、農業機械の開発から製造、販売までを一貫して手がける、独自の自社ブランドを持つ開発型企業です。主力商品である水稲用播種機は国内トップシェアを誇り、栃木県から「フロンティア企業」、経済産業省から「地域未来牽引企業」に認定されるなど、確固たる実績と安定性を有しています。

弊社の最大の魅力は、ものづくりを通して日本農業の省力化に貢献できる点です。近年は野菜農家の作業負担を軽減する新商品開発にも注力。さらに農機メーカーとしては異色の豆苗生産を34年続け、横浜中華街で国内トップシェアを誇るなど、既存の枠にとられない柔軟な挑戦を続けています。社内では各種資格の取得補助をはじめ、社員の誕生会やサークル活動への一部助成など、コミュニケーションを大切にしている温かい風土が根づいています。性別に関わらず個性や能力を発揮できる職場として「きりり大賞」も受賞。今年で80周年を迎え、100年企業を目指す抜群の安定環境のなかで、安心して長く活躍できる環境が整っています。



代表取締役 鈴木直人

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地44-3
問合せ先: 028-664-1111


東京都 (株)丸山製作所

誠意と挑戦で食と環境の課題解決

創業130年を超え、ポンプ・エンジン技術を基盤に、農林業・産業・防災の幅広い分野で製品を展開し、「自然と調和し、人と地球が笑顔あふれる世界」を目指しています。社会インフラを支え続ける東証スタンダード上場企業です。

最大の魅力は、歴史に甘んじない革新性。現在はドローンや自動走行などAI・ICTを駆使したスマート農業に挑戦し、人手不足という深刻な社会課題の解決へ進化を続けています。さらに、優れた技術力は国内に留まらず、世界国内へ届けるグローバルなフィールドが広がっています。

社是「誠意を以て人と事に當(あた)ろう」の通り、社内には誠実で真面目な社員が多く、若手も安心して最前線で活躍できる育成風土が根づいています。仕事に打ち込む時は全力で取り組み、プライベートも大切にメリハリのある文化も特徴です。確かな安定性と、社会を劇的に変えるダイナミズム。ものづくりへの熱い想いと誇りを胸に、国内外の高い信頼を背景に、これからも笑顔あふれる世界を創造し続けます。



代表取締役社長 内山剛治

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15
問合せ先: 03-3252-2271